

映画のつどい



毎月第2土曜日(1日2回上映)

午前10時から/午後2時から

時間・製作・監督

出演

作品の解説

4/8

男はつらいよ
純情篇89分
1971年 松竹
山田洋次渥美清
倍賞千恵子
森川信
若尾文子

5作でシリーズ終了予定も、あまりの寅さん人気に押され製作続行となった第6作。舞台は正月の長崎県五島。今回のマドンナは若尾文子だが、脇を森繁久弥と宮本信子、松村達雄で固めた笑い涙溢れる秀作喜劇。

5/13

旗本退屈男
謎の珊瑚屋敷87分
1962年 東映
中川信夫市川右太衛門
水谷良重
坂東好太郎
堺駿二

市川右太衛門が産み出した稀代のヒーロー、早乙女水之介。昭和5年の第1作以来、昭和38年の「謎の竜神岬」まで、全30作ある右太衛門の退屈男シリーズ中の最高傑作と評価される大ヒット娯楽作。

6/10

静かなる決闘

95分
1949年 大映
黒澤明三船敏郎
三條美紀
志村喬
千石規子

軍医の藤崎は野戦病院で中田上等兵の手術中、不注意で自らの指を傷つける。一命は救われるが中田は梅毒に侵されていて、藤崎は梅毒に感染する。後年製作される「赤ひげ」に通ずるヒューマニズム溢れる力作。

7/8

新選組

94分
1958年 東映
佐々木康片岡千恵蔵
千原しのぶ
月形龍之介
山形勲

池田屋事件をクライマックスに、新選組の活躍を近藤勇を軸に描く。東映時代劇全盛時代に作られており、豪華な出演陣や町並みのセットに加え、鞍馬天狗や月形半平太なども登場して繰り広げられるチャンバラなど、見どころ一杯の娯楽時代劇。

8/12

東京アンタッ
チャブル93分
1962年 東映
村山新治三國連太郎
高倉健
丹波哲郎
三田佳子

昭和31年から始まった「警視庁物語」シリーズの大ヒットを受け、三國連太郎扮する警視庁の西山捜査チームの活躍を描いた全3作の「アンタッチャブル」シリーズの第1作。脱獄囚を追う二人の刑事の姿を迫真のカメラで描いた痛快アクション映画。

9/9

瞼の母

83分
1962年 東映
加藤泰中村錦之介
松方弘樹
木暮実千代
大川恵子

瞼を閉じれば幼いあの日の母の顔…あの胸にもう一度抱かれて泣きたいと、旅にさまよう番場の忠太郎。見捨てられた者の悲哀と意地を描き、同時代の庶民に圧倒的に支持された大衆文学の巨匠長谷川伸の代表作3度目の映画化作品。

10/14

早春

144分
1956年 松竹
小津安二郎池部良
淡島千景
岸恵子
笠智衆

舞台は復興を遂げつつある戦後の東京。主人公は大会社に勤める池部良で、その妻が淡島千景。小津映画としては異質な不倫をテーマにしているが、最後は本当の夫婦の姿を問いかけてくる小津監督らしい佳作。

11/11

高校三年生

84分
1963年 大映
井上芳夫舟木一夫
高田美和
倉石功
姿美千子

一宮市萩原町出身の舟木一夫の大ヒットソング「高校三年生」を映画化した青春映画。昭和30年代の白砂に覆われた木曾川、開通したばかりの濃尾大橋に加え、一宮や起、黒田などの町並みが懐かしい傑作ご当地映画。

12/9

春駒のうた

109分
1986年 共同
神山征二郎田村高廣
左幸子
香川京子
前田吟

「ふるさと」「ハチ公物語」の岐阜市出身神山征二郎監督の通算第25作。山村を舞台に、小児麻痺の後遺症で右足が動かない登校拒否の少年と、村人たちの交流を描く。田村高廣はじめ、実力派揃いで描かれた重厚な感動作。

1/13

無法松の一生

104分
1958年 東宝
稲垣浩三船敏郎
高峰秀子
芥川比呂志
笠智衆

伊丹万作が脚色した同作は、戦中の1943年に稲垣浩監督により映画化された。しかし、軍部の検閲を受け幾つかのシーンがカットされてしまったことから、稲垣監督が再映画化し、ヴェネチア映画祭金獅子賞に輝いた日本映画の金字塔的作品。

2/10

宗方姉妹

112分
1950年 新東宝
小津安二郎田中絹代
高峰秀子
山村聡
上原謙

小津監督が「晩春」と「麦秋」の間に、新東宝に招かれて製作した作品。田中絹代と高峰秀子が、正反対のキャラクターの姉妹を演じている。新東宝という異質の世界で展開される、ちょっと違った小津ワールドが興味深い一作。

3/9

夢千代日記

128分
1985年 東映
浦山桐郎吉永小百合
名取裕子
田中好子
樹木希林

NHKで放映された脚本家早坂暁原作の映画化作品。広島で胎内被爆し余命3年と宣告されている夢千代と、夢千代を取り巻く人々の生き様を山陰の冬景色を背景に物悲しく描いた吉永小百合の代表作。

2023年度

マイコレクションワークショップのお知らせ

4月6日(木)～5月21日(日)

布切り絵展

布創作工房 伊藤泰弘さん

ワークショップ

おり鶴体験

日時 4月29日(土)10時～・13時～

参加者 定員なし(申込み不要)

材料費 無料



6月1日(木)～7月23日(日)

ガラスアート作品展

RACフラワーの仲間たち

ワークショップ

手軽に作れるガラスアート作品づくり

日時 7月2日(日)13時～15時

参加者 20名程度(親子でも参加可)

材料費 1000円



7月29日(土)～9月18日(月)

ローズウィンドウ展

日本ローズウィンドウ協会認定講師 児玉智美さん

ワークショップ

ローズウィンドウ体験

日時 8月5日(土)13時～
120分ほどで完成

参加者 20名程度(親子でも可)

材料費 1000円



9月30日(土)～12月17日(日)

水墨画小品展

水墨画家 荒井克典さん

ワークショップ

はじめての水墨画体験



～墨色に変化をつけて
ネコを描こう～

水墨画を描くときに最初に習う技法を紹介します。難しくないシンプルな技法です。お手本を元にその技法を使ってネコを描きます。

日時 11月5日(日)13時～15時まで

参加者 20名程度(小学校3年生以上)

材料費 500円

持ち物 汚れてもよい雑巾

※ワークショップの申し込みは随時受け付けます。電話もしくは直接当館へ申し込みください。

開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時30分まで)

入館料 大人(高校生以上) … 1人300円
団体(10人以上) … 1人250円

休館日 毎週月曜日(ただし祝日は開館)
祝日の翌日
年末・年始(12月28日～1月4日)

小・中学生 …… 無料
障がい者割引 …… 150円

羽島市歴史民俗資料館・映画資料館

〒501-6241 羽島市竹鼻町2624-1 TEL(058)391-2234 / FAX(058)391-7663

ホームページ

<http://www.hashima-rekimin.jp>

共催

(公財)羽島市地域振興公社

